日本共産党 区議会議員団　2023/12/3　No.1450

相馬ゆうこの 南千住レポート

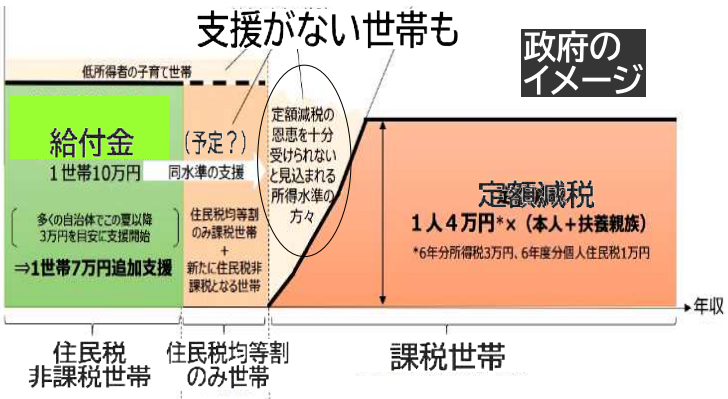
まちづくり、くらしの情報を届けます

区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎:3802-4627
FAX：3806-9246／✉:arajcp@tcn-catv.ne.jp
相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階
☎・FAX:3807-4192
・HP→
・ツイッター @m1010_yuko
・araken-nan.jugem.jp

物価高騰対策 非課税世帯に8万円、減税は先送り

11月28日に急遽、区議会本会議が開かれ、区は政府の経済対策に基づく「非課税世帯への７万円給付」の予算化と、国の臨時交付金を財源に区が「１万円上乗せ」する補正予算を提案しました。

国の支援すすまず　国は課税世帯に「2024年分の所得税３万円＆24年度分の住民税１万円」の減税を予定していますが、来年以降の実施に批判も。また、「住民税均等割のみ世帯」など低所得でも現在の給付金や減税の対象外の世帯もあります。



非課税世帯への７万円給付（国の施策）

歳入	国	交付金（給付分）	19億9500万　円
		交付金（事務費分）	7125万　円
	区	基金から繰り入れ	4402万7千円
歳出		給付	19億9500万　円
		事務費	1億1527万7千円
		計	21億1027万7千円

「修正案」を区へ提案　共産党区議団は幅広い支援が必要として、委員会で上乗せではなく「均等割のみ世帯」に同じく７万円の給付、合わせて「特別支援学校の給食費無料化」の「修正案」を提案。総務企画委員会の質疑では、他の委員から「非課世帯への上乗せなら事務費が増えない」「国が対策を検討しているので不公平になる」などの意見がだされ、残念ながら反対多数で否決に。

「均等割のみ世帯」など支援が届いていない層への迅速な対応が求められており、すでに国分寺市、沖縄市などで独自給付を実施しています。区としても対応をもとめたい。

消費税減税がいちばん　非課税世帯への給付金予算21億円のうち、事務費だけで１億円を超え、税金の使い方が問われます。困っている区民を取り残さない支援なら、消費税を下げるのが一番では。

区の提案

１万円の上乗せ

歳入	国	交付金	2億4000万　円
	区	基金から繰り入れ	4500万　円
歳出		給付	2億8500万　円

区議団の提案

住民税均等割のみ世帯に７万円給付
＆特別支援学校の子どもの給食費無償化

歳入	国	交付金	2億4000万　円
	区	基金から繰り入れ	791万6千円
歳出		給付＋事務費	2億3908万6千円
		給食費の助成	883万　円
		計	2億4791万6千円

ごみ、駐輪問題…気持ちよく暮らせる住環境を

前号に続き、11月会議で日本共産党が行った本会議質問の一部をご紹介します。

【問】共同住宅のごみ置き場、駐輪場の設置など区の条例改正を

居住者用の大型ゴミ箱や駐輪場が設置されていない小規模アパートがふえ、近隣の方から「ごみが散乱して困っている」「道に駐輪され通りにくい」などご意見が寄せられています。

建築時に「延床面積1,000㎡以上又は住戸数15以上」の建物には、区の条例でごみ集積場所、駐輪場の設置が義務付けられています。また６戸～14戸の建物には、要綱（区の内規）によって関係者に必要な指導を行い、地域環境を守るための協力を要請していますが、なかなか思うにいかない現実があります。

【答弁】区の要綱は近隣区の中でも厳しい基準になっており、近隣の苦情に対して共同住宅への適切な指導を実施している。引き続き必要な協力を求め、良好な住環境確保を進めていく。

入居者のみなさんの協力も不可欠ですが、人口密度が全国４位で住宅が密集している荒川区で、共同住宅などのミニ開発について地域環境を守る最低限の建築時の設置基準が必要ではないでしょうか。引き続き区に検討を求めます。

子どものインフルエンザワクチン助成 来年度から実施へ

この間、子どものインフルエンザワクチン費用への助成や高齢者の無料化をもとめ、みなさんに署名もご協力頂き区へ提出、区議会で要望を重ねてきました。他の会派からも要望が広がり、11月会議で「子育て支援の一環として、**来年度、小児全員に対する助成に向けた準備をすすめる**」と区も答弁。助成額などの詳細はこれから、またご報告します。

学級閉鎖もつづいています

11月以降もインフルエンザで小10校・中１校で学級閉鎖、６校で学年閉鎖も。学校行事の影響や冬場はさらに感染が広がる可能性も、引き続きお気をつけください。

次は高齢者の無料化を

〈法律・生活相談〉 12月の定例法律相談日は 14日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第２木曜18時から。平日の午後に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所　南千住５－１－６－２階　☎３８０７－４１９２

区立小中学校の希望校申し込み～南千住地域は

荒川区は、小学校は「隣接する通学区域の学校」から選択（汐入小は学区域のみ）、中学校は区内の全ての学校から自由に選択可能（第三中は学区域のみ）です。ただし、受け入れ枠を超えた場合は抽せんに。

11月に行われた来年度入学の申し込み状況は表のようになっています。今年は峡田小・第四中の２校が抽せんに、南千住地域では抽せん校なしです。

【小学校 申し込み状況】

	受入可能数	申込者数 合計	学区内	学区外
瑞光	99	**90**	62	28
二瑞	66	**25**	18	7
三瑞	133	**110**	103	7
汐入	—	**114**	114	0
汐入東	99	**69**	62	7
六瑞	33	**18**	12	6

【中学校 申し込み状況】 ◎…抽せん実施

	受入可能数	申込者数 合計	学区内	学区外
第一中	133	**135**	113	22
第三中	—	**204**	204	0
◎ 第四中	99	**156**	79	77
第五中	99	**103**	74	29
第七中	99	**90**	77	13
第九中	99	**66**	51	15
尾久八幡中	166	**210**	128	82
南二中	199	**233**	183	50
原中	133	**137**	108	29
諏訪台中	166	**286**	260	26

申し込みと実際の入学者数は

2023年度	申込み数	5/1時点の生徒数
第一中	129	→ 102
第三中	221	→ 147
第四中	151	→ 99
第五中	121	→ 80
第七中	73	→ 66
第九中	65	→ 58
尾久八幡中	207	→ 131
南二中	197	→ 132
原中	109	→ 92
諏訪台中	266	→ 151

荒川区の区立進学率は、小学校は９割以上、中学校は約７割で、３割は国立・私立などに進学。

申し込み数より実際の入学人数は減少するため、申込み超過でも抽せん「なし」の場合もあります。

公立学校の入学でも、時々の風聞の影響で、希望集中や選択減少もあります。教育委員会も「特定の学校に希望が集中しても受け入れ枠がほぼない」場合もあるとしており、何のための選択制か分からない実情も。

すべての学校の条件整備を

区は学校選択制で「高いレベルで学校間の競争が可能」としていますが、学級編成が不安定になったり、教室や施設整備に影響もあります。学校を地域コミュニティの中心として必要な施設整備を、全ての子どもたちが基礎学力を身につけ、一人ひとりに目の行き届く学校になるよう長時間・過密労働の教職員の負担軽減こそすすめてほしい。

「さくらバス停に屋根もベンチもなくて…」

「さくらバスの南千住図書館停留所はベンチや屋根がないので、図書館の１階で待てるスペースがあるといいな」とのご意見が。

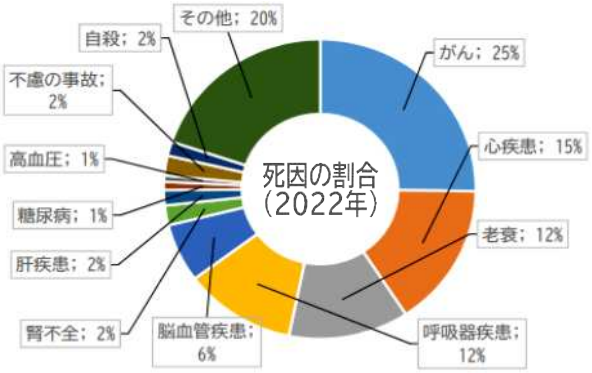
南千住図書館前の停留所

担当課に相談したところ、外が見える位置にイスを置いてもらうことに！また、「ふるさと文化館の伝統工芸ギャラリーのイスも使って頂ければ」とのことです。

３年後の図書館大規模改修の際も、利便性向上に区民の声をいろいろ取り入れてほしい。

がんのリスク検査～無料、千円で受けられます

荒川区の平均寿命は男性80.63歳・女性83.09歳。元気で長生きに気を付けたいものですが、死亡の原因は「がん」25%、「心疾患」15%、「呼吸器疾患」「老衰」各12%などとなっています。



生活習慣に気を付けたい

男性は肺がん、大腸がん、胃がん、すい臓がん、肝臓がんの順に多く、女性は大腸がん、肺がん、すい臓がん、乳がん、胃がんの順です。要因は、喫煙やアルコールの過剰摂取など日常の習慣のほか、ピロリ菌やC型肝炎ウイルス感染の影響もあります。

検査の費用助成があります

ピロリ菌感染で胃がんのリスクが高まりますが、血液検査で感染の有無が分かります。区では35・40・45・50・55・60歳の区民の方を対象に、胃がんリスク検査（ＡＢＣ検査）の受診券を送付、費用助成があり1,000円で受診できます。

	A	B	C	D
ピロリ菌	陰性	陽性	陽性	陰性
ペプシノゲン値	陰性	陰性	陽性	陽性
（胃粘膜の萎縮度）胃粘膜の状態	健康	少し弱っている	かなり弱っている	非常に弱っている
胃がん危険度	低			高
胃がん発生率(年間)	ほぼゼロ	1/1,000人	1/500人	1/80人

また、C型肝炎ウイルスの血液検査は年齢問わず無料で受けられます。39歳以下の方は各医療機関か区保健所にて、40歳以上の方は、健診を受ける際に一緒に受けることができます。肝機能検査もあるのであまり心配ないと思いますが、潜在的に150万人程度感染者がいるそうで、念のために1度検査してもよいかも。荒川区としても「心身ともに健康で生き生きと暮らせるまち」を目指すとして、「荒川区健康増進計画」を改定中。今後のパブコメにもご意見ください。

ご意見・ご質問頂きました ○区民アンケートから「非課税世帯対象の補助や支援金が多いと思います。でも、家族に1人だけでも納税者がいると対象にならないのは、おかしい。他の家族への支給は実施してほしい」本当にそうだと思います。「困っているのは、非課税世帯だけではありません。課税世帯といっても、ぎりぎりの収入でやりくりしている我が家にもっと支援してください」という声も。いまの円安・物価高をつくってきた経済政策を元から変えていく必要がありそうです。また、いますぐに、最低でも食料品など消費税減税が必要ではないでしょうか。